



OPEN21 Workflow

PostgreSQL アップデートガイド

目次

0 はじめに	. . . 3
1 旧バージョンサービスの停止、バックアップ	. . . 4
2 新バージョンDBインストール	. . . 5
3 旧バージョンDBデータの新バージョンDBへの移行	. . . 8
4 旧バージョンDBのアンインストール	. . . 10

0 はじめに

(1) 資料の目的

当ガイドでは、DBサーバのPostgreSQLを11.4へアップデートする手順を記載します。

PostgreSQLのアップデート後に、etteamアプリケーションのバージョンアップを実施してください。

アプリケーションのアップデートも含めた全体の流れは以下のようになります。

①ZIPファイルのetteam_installフォルダをOPEN21Workflowサーバーにコピーしてください。

etteam_install¥etteamフォルダを、OPEN21WorkflowサーバーのCドライブ直下に上書きコピーしてください。

②PostgreSQLアップデート←現在

Apache HTTP ServerやApache Tomcatのアップデートも実施してください。(Tomcatアップデートガイド参照)

③OPEN21WFサーバーで、下記バッチを管理者権限で実行してください。

C:¥etteam¥patch¥update.bat

(2) 記載範囲

OPEN21Workflowがインストール済である前提で、アップデート手順を記載します。

(3) 準備

上記(1)に記載している全体の流れ①の内容を実施してください。

1 旧バージョンサービスの停止、バックアップ

(1) WFサービスの停止

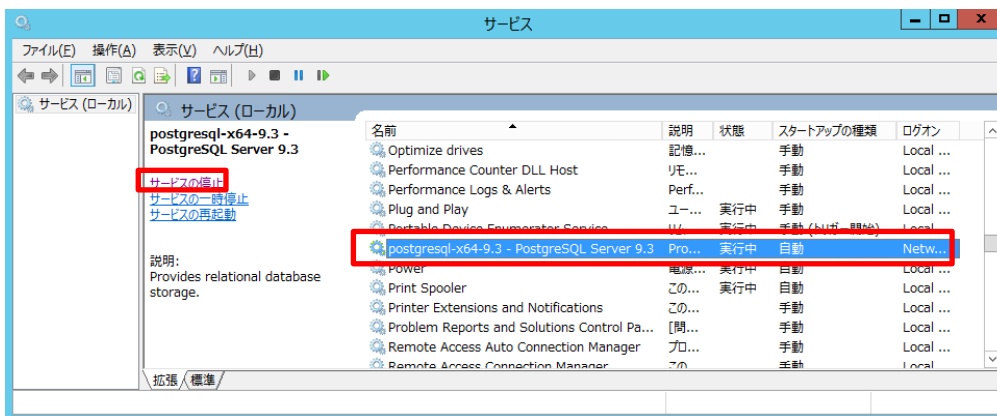
- ・ C:¥eteam¥work¥stop.bat を管理者権限で実行し、WFサービスを停止してください。

(2)旧バージョンDBのバックアップ

- ・ C:¥eteam¥bat¥bin¥backup.bat を管理者権限で実行し、データベースのバックアップを実行してください。
処理実行後、「C:¥eteam¥dbbackup¥¥yyymmddhhmmss_eteamDb.dump」
のファイルが正常に作成されていることを確認してください。
(ファイル名のyyymmddhhmmssはタイムスタンプ)
該当ファイルは自動実行タスク等で削除されることを防ぐため、**別フォルダに退避して保管**してください。

(3)旧バージョンDBのサービス停止

- ・ [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]の画面を開き、
「postgresql-x64-9.3 - PostgreSQL Server 9.3」のサービスを停止します。

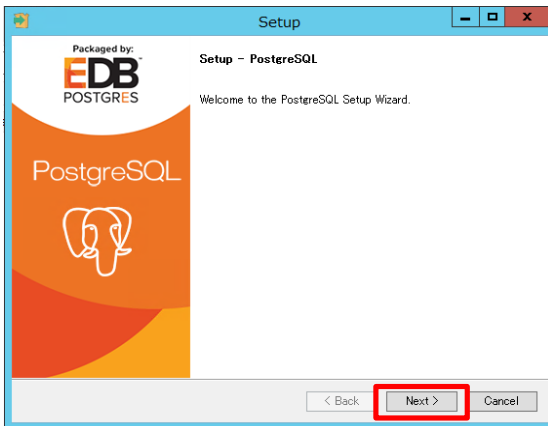


2 新バージョンDBインストール

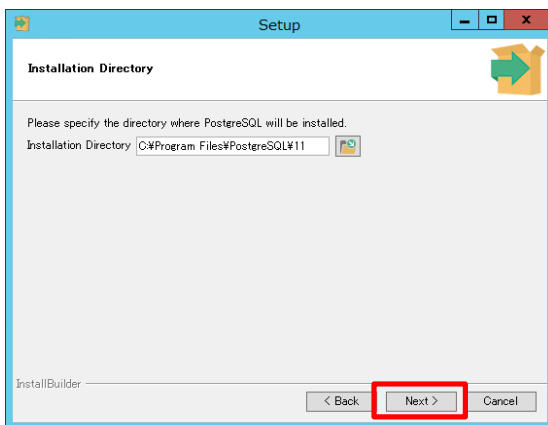
(1)新バージョンDBインストール

インストールフォルダ内の「postgresql-11.4-3-windows-x64.exe」を実行し、以下のようにインストールを実行してください。

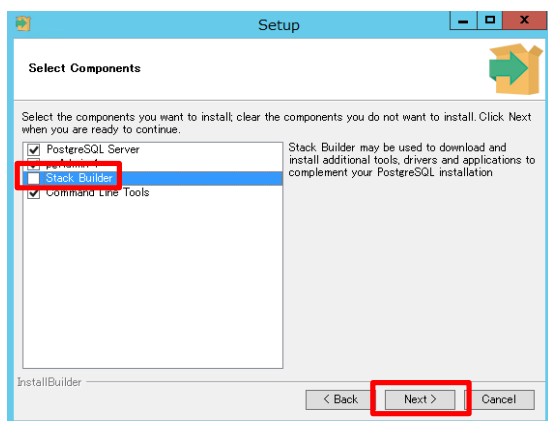
Nextボタンを押します。



インストール場所はデフォルトのまま、Nextボタンを押します。

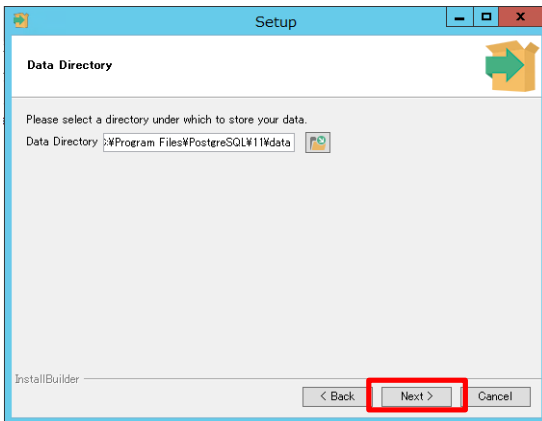


インストールするツールで「Stack Builder」のチェックを外し、Nextボタンを押します。



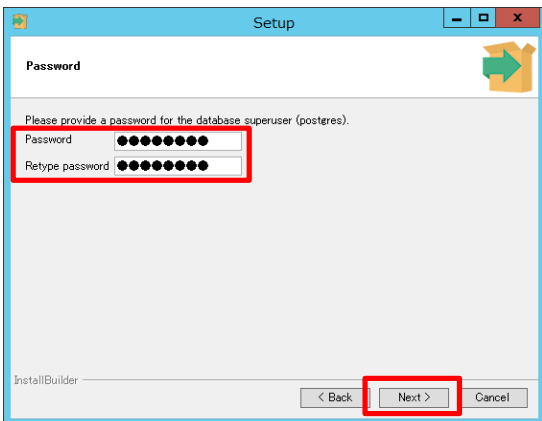
データ場所はデフォルトのままNextボタンを押します。

※バックアップのポリシーやパフォーマンスの考慮でデータ領域のディスクを分けたい場合、Data Directoryのフォルダを変更してください。

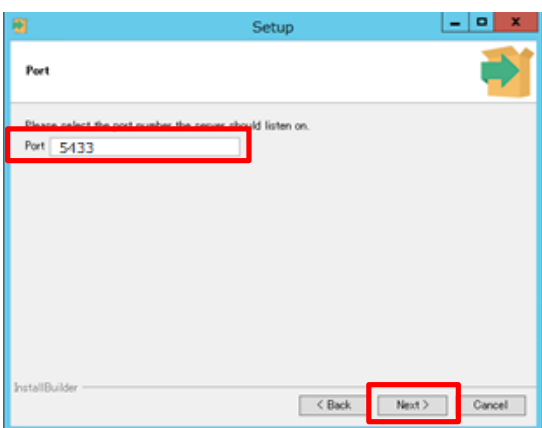


パスワードを入力して、Nextボタンを押します。

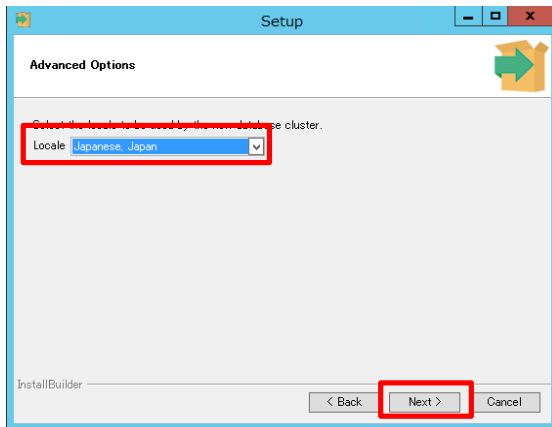
※データベースの管理者権限パスワードになります。大切に保管してください。



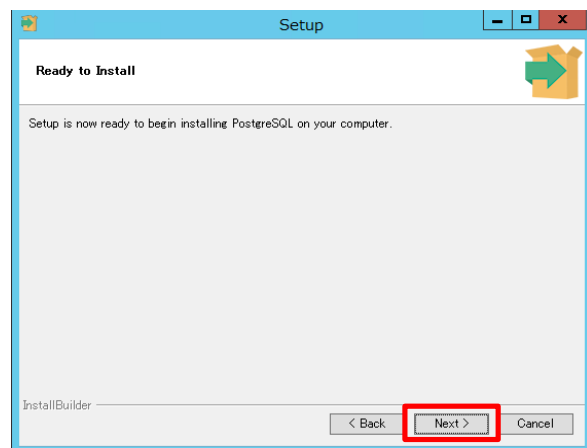
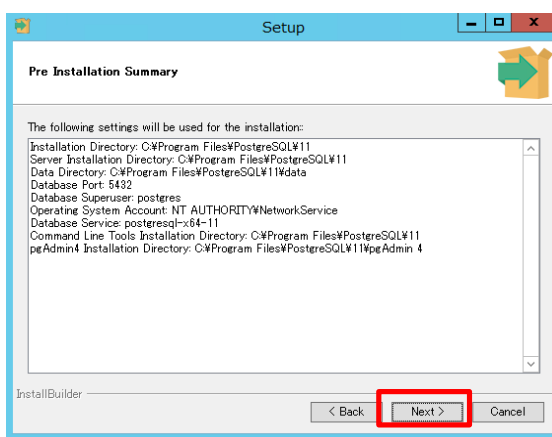
ポート番号を「5433」にして、Nextボタンを押します。



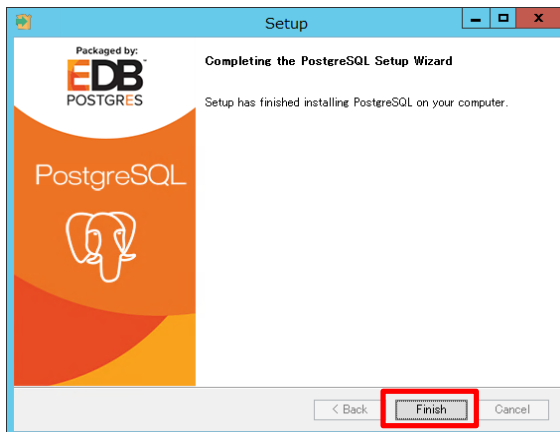
Localeは「Japanese, Japan」を選択して、Nextボタンを押します。



インストール準備情報を確認し、それぞれNextボタンを押します。



インストール完了を確認し、Finishボタンを押します。



3 旧バージョンDBデータの新バージョンDBへの移行

(1)新バージョンDBのサービス停止

[コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]の画面を開き、「postgresql-x64-11」のサービスを停止します。

(2)環境変数Pathの変更

[コントロールパネル]-[システム]の画面を開き、「システムの詳細設定」を選択します。

「環境変数」を押下し、[システム環境変数]-[Path]の下記部分を記載の通り変更してください。

変更前 : C:¥Program Files¥PostgreSQL¥9.3¥bin;
--

変更後 : C:¥Program Files¥PostgreSQL¥11¥bin;

※Windows Server 2016以降のOSの場合、最後のセミコロンは含めずに入力してください。

(3)DBのサービス開始

[コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]の画面を開き、

「postgresql-x64-9.3 - PostgreSQL Server 9.3」と「postgresql-x64-11」のサービスを起動します。

(4)新バージョンDBへリストアするバックアップ取得

コマンドプロンプトを管理者権限で起動し、以下コマンドをコピーして実行してください。

"C:¥Program Files¥PostgreSQL¥11¥bin¥pg_dump" -h localhost -p 5432 -U eteam -d eteam -E utf8 -F c -b > C:¥eteam¥dbbackup¥restorDb.dump

処理実行後、「C:¥eteam¥dbbackup¥restorDb.dump」のファイルが正常に作成されていることを確認してください。

(5)旧バージョンDBのサービス停止

[コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]の画面を開き、

「postgresql-x64-9.3 - PostgreSQL Server 9.3」のサービスを停止します。

(6)DB初期化

c:¥eteam¥work¥create_db.batを管理者権限で実行してください。

「postgres」ユーザーのパスワードを求められますが、

「2 新バージョンDBインストール」で設定したパスワードを入力してください。

(7)旧バージョンDBデータの新バージョンDBへの移行

コマンドプロンプトを管理者権限で起動し、以下コマンドをコピーして実行してください。

"C:¥Program Files¥PostgreSQL¥11¥bin¥pg_restore" -U postgres -W -d eteam -p 5433 -F c C:¥eteam¥dbbackup¥restorDb.dump
--

「postgres」ユーザーのパスワードを求められますが、

「2 新バージョンDBインストール」で設定したパスワードを入力してください。

移行処理が完了するまで待機してください。移行完了すると、コマンド入力可能状態に戻ります。

上記コマンドを実行したプロンプト画面を参照し、エラーが出力されず正常にアップデートが実行されたことを確認してください。

※旧バージョンでチューニングを行っていた場合は、(8)(9)(10)の作業を実施してください。

(8)新バージョンDBのサービス停止

[コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]の画面を開き、「postgresql-x64-11」のサービスを停止します。

(9)PostgreSQLのチューニング

「チューニングガイド」「1 PostgreSQLのチューニング」を参照し、同様のチューニングを実施してください。

(10)新バージョンDBのサービス起動

[コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]の画面を開き、「postgresql-x64-11」のサービスを起動します。

(11)統計情報更新コマンドの実行

新バージョンのDBサービスが起動していることを確認してから、
管理者権限のコマンドプロンプトにて以下コマンドをコピーして実行してください。

```
"C:¥Program Files¥PostgreSQL¥11¥bin/vacuumdb" -U postgres -W --all -p 5433 --analyze-in-stages
```

パスワード入力を求められるため、バイナリインストール時に指定したpostgresユーザーのパスワードを入力してください。
統計情報更新処理が完了するまで待機してください。

処理完了時は下記メッセージが表示され、コマンド入力可能状態に戻ります。

```
vacuumdb: データベース"etteam"の処理中です: 最適化のための情報を最小限生成します(1対象)
vacuumdb: データベース"postgres"の処理中です: 最適化のための情報を最小限生成します (1対象)
vacuumdb: データベース"template1"の処理中です: 最適化のための情報を最小限生成します (1対象)
vacuumdb: データベース"etteam"の処理中です: 最適化のための情報を複数生成します (10対象)
vacuumdb: データベース"postgres"の処理中です: 最適化のための情報を複数生成します (10対象)
vacuumdb: データベース"template1"の処理中です: 最適化のための情報を複数生成します (10対象)
vacuumdb: データベース"etteam"の処理中です: 最適化のための情報をデフォルト数(全て)生成します
vacuumdb: データベース"postgres"の処理中です: 最適化のための情報をデフォルト数(全て)生成します
vacuumdb: データベース"template1"の処理中です: 最適化のための情報をデフォルト数(全て)生成します
C:¥etteam¥tmp_dbupdate>
```

※データベース名や対象数は環境により異なる可能性があります。処理完了そのものを示すメッセージは表示されないため、画面上でエラーメッセージが表示されていないことを確認して次手順に進んでください。

(12)新バージョンDBのバックアップ

C:¥etteam¥bat¥bin¥backup.bat を管理者権限で実行し、データベースのバックアップを実行してください。

処理実行後、「C:¥etteam¥dbbackup¥**yyyymmddhhmmss**_etteamDb.dump」

のファイルが正常に作成されていることを確認してください。

(ファイル名の**yyyymmddhhmmss**はタイムスタンプ)

該当ファイルは自動実行タスク等で削除されることを防ぐため、**別フォルダに退避して保管**してください。

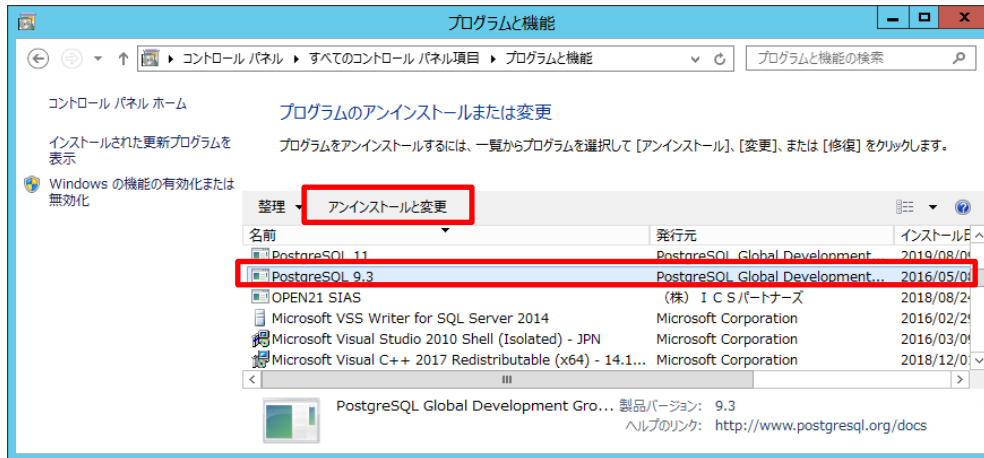
4 旧バージョンDBのアンインストール

※本手順は、必ず以下事項が確認できた後で実施してください。

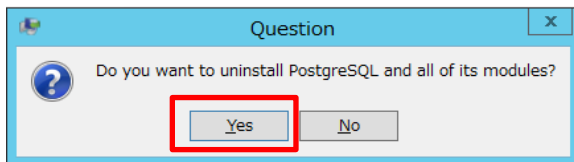
- ・旧バージョンDB/バックアップデータはc:\etteam\dbbackupフォルダから別フォルダへ退避済みであること
- ・DBのアップデート後、WFシステムで各データが正常に参照できていること

(1) PostgreSQL 9.3 のアンインストール ※環境により左記以外のバージョンであっても同様

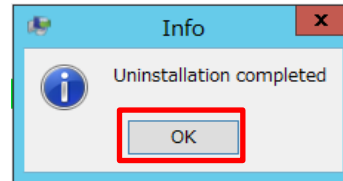
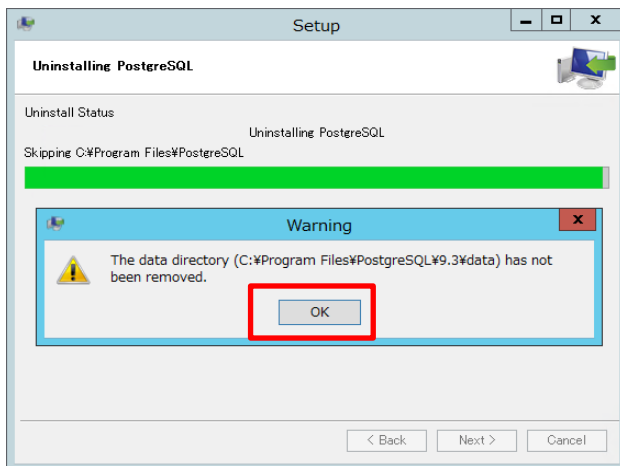
- ・コントロールパネル [プログラムと機能] を起動してください。
- ・「PostgreSQL 9.3」を選択し、「アンインストールと変更」を実行してください。



- ・「Yes」を押下してください。



- ・データフォルダが削除されていない旨の警告が表示されますが、「OK」を2回押下してアンインストーラを終了させます。



- ・データフォルダ削除のため、「C:\Program Files\PostgreSQL\9.3」をフォルダごと削除してください。

